

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日更新

事務事業名		市債利子管理事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	会計	課長名	富加美 尚悟
	施策	3	財政の健全化			所属課	会計課	担当者名	山本 美代
	施策の柱	13	財政事務の適正な執行			所属班	会計班	(内線)	1002
予算科目	会計一般	款12	項1	目2	事業連番11532	根拠法令	地方自治法第235条の3 合志市会計規則第54条	成果優先度評価結果	: ⑤
								コスト削減優先度評価結果	: ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・地方自治法第235条の3及び合志市会計規則第54条に基づき、歳出予算内の支出をするため、一時借入金の借り入れを行っている。
【業務の流れ】	①一時借入及び一時借入に係る貸付利率見積書の徴収 ②借入先の決定及び借入 ③元利償還を遅滞なく行う
【主な予算費目】	利子償還金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	一時借入金の借り入れ 利子償還	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 一時借入及び一時借入に係る貸付利率見積書の徴収 借入先の決定及び借入 利子償還
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → イ 一時借入手続き回数	予算の主な増減の理由 借入額を30億円から20億円に減額したため
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	歳出予算内の支出	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 一時借入金額 千円 イ 利子償還額 千円
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	歳出予算内の支出を円滑に行う	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア 資金不足に陥った日数 日 イ
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
歳出予算内の支出を円滑に行うことが目標であり、資金不足の日数を成果指標にすることで、その数値が低いほど目標を達成していることになる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア 回		1	2	1	2	1	1	1	0
	イ									
② 対象指標	ア 千円	1,000,000	2,000,000	3,000,000	3,800,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	
	イ 千円	224	266	946	294	658	658	658	658	
③ 成果指標	ア 日	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	224	266	946	293	658	946	946
		(A) 事業費計	千円	224	266	946	293	658	946	946
		(A)のうち指定経費	千円	224	266	946	293	658	946	946
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	3	2	2	2	2	2
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	50	42	9	285	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	185	0	35	1,127	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	409	266	981	1,420	658	946	946	

事務事業名	市債利子管理事務	所属部	会計	所属課	会計課
-------	----------	-----	----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 【前年度内容】今まで借入回数は1回の10億円であったが、熊本地震関連の支払いが嵩み預金の残高不足が懸念されたため、追加で10億円借入し、合計20億円の借入となった。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】一時借り入れ2月、1回の見込み。しかし、借入額は10億円か～30億円の範囲内で詳細は不明である（平成29年度の地震関連支払予定がまだつかめていないため）。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 年度末は資金不足が必ず発生するため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は利子の償還額であることから、資金を借り入れ先は競争入札を行い最低利息の金融機関から借入を行っている。融資利率は景気経済に左右されるため、融資に対する利率の把握は難しいが、借入先の利率が前年度比で低ければ、削減となる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低の業務時間のため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 現在、市の指定金融機関・収納代理金融機関から貸付金利の競争見積り入札を行っている。借入先の決定は最低利率の金融機関であり、公平である。引き続き、競争入札により決定する。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 一時借入金の利子償還であることから、他への移行はできない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

【前年度内容】2回にわたって一時借り入れを行い5月初旬までは歳出予算内の支出を円滑に行うことができたが、償還の時期（5/19）が若干早かったため5月後半の支払いの調整に大変苦慮した。次年度は5月末まで借入期日を伸ばす必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						